



平成23年度総会170余名が集う (於 せらワイナリー)

# 世羅高 同窓会報

発行  
広島県立世羅高等学校  
同窓会  
世羅郡世羅町本郷870番地



## 第14号発刊によせて



同窓会長 小島 敏文 (昭44高卒)

同窓会報第十四号発刊にあたり  
ご挨拶を申し上げます。  
皆様におかれましては、ご健勝  
にてご活躍の事と拝察お慶び申し  
上げます。

平成二十一年八月十七日に、世羅高等学校同窓会改革検討委員会を設置以来二年余、六つの委員会を立ち上げ、それぞれの委員長には同窓会副会長に担当して頂く事さらに総会の運営に、当番幹事の皆様に早い時期(総会二年前)から準備をお願いする事等をご報告致しました。お陰様で各委員会には熱心に取り組みを頂いており、又当番幹事さんには事前に参加券を販売する事を提案頂くなど、昨年の総会は約百七十余名の出席があり大盛会でございました。運営においては、母校在校生の活躍状況の紹介もあり、今までは内容を一新した新しい同窓会総会とな

りました。大変喜ばしく感謝致しております。これから尚一層活発に機能し年々参加者が増えることを願っております。

さて、世羅高等学校の現状でございますが、昨年学年定数の改定があり、一学年定員が二〇〇名に変更され、今年の新入生は一二五名とマイナス七五名と聞きました。地域における生徒数の減少と同時に、普通科・職業科各校共に全県一円となり、地域外への進学も年々増加しているのではないかと感じているところであります。学校当局は「文武不岐」を目標に掲げられ確かな学力・強い体・豊かな心を持つ生徒の育成に取り組みされております。平成二十三年度の進学状況は、国立大学へ三十一名合格しており、学力の面から見ても他校に劣ると思われぬ成績を上げています。全体的に生徒の急減期に入り、生徒募集停止・廃校が増えています。将来、よもや世羅高等学校が廃校となる事は考えられません、大きな転換点に位置していると言えらると思えます。

より一層の世羅高校と保護者・地域の信頼関係の確立が求められているのではないかと考えます。

来る七月二十七日から八月十二日まで第三〇回2012年ロンドンオリンピックが開催されます。この大会に世羅高校卒業生ビダン・カロキ君(エスピー食品)がケニア共和国代表として陸上競技男子一万mに出場することが決定しました。カロキ君は来る八月五日(日

本時間)午前二時五十分〜六時五十分の間に出場します。平成十九年に世羅高校に留学し陸上競技部の中心メンバーとして活躍し、平成二十一年六〇回全国高校駅伝競走大会に於いて全国優勝に大きく貢献してくれました。オリンピック出場を心からお祝い申し上げます。明治大学に進んだ鑑坂選手は日本オリンピック標準記録を上まわりロンドンオリンピックに於いてカロキ選手と争うチャンスがありました。残念ながら腰を痛め出場出来ません。出場できない事は残念ですが、鑑坂君は「高校時代から世界に通用する選手と練習が出来たことは貴重な経験でした」と言っています。

ケニア共和国と世羅高校の交流は今年で十一年目に入りました。ケニアから選手を送って頂く事について真摯にお世話を下さる丸川正人様にこの機会に心から感謝を申し上げますと共に、今まで築いてきた交流を今後共尚一層深め、両国の理解が進む事を願っております。

世羅高校の発展に今後皆様様の御理解とご支援をお願い申し上げます。まして御挨拶とさせていただきます。



『元氣・感動・笑顔』



学校長 藤井 彰二

同窓会会員の皆様には、本校教育の充実・発展のために日頃より御支援・御協力を賜り、誠にありがとうございます。心より感謝を申し上げます。

本校は、現在まで一万七千六百十七名(昭和二十四年以前の卒業生も含む)の卒業生を輩出してきた百十六年の歴史と伝統を誇る高等学校であり、卒業してゆくすべての生徒が自信と誇りと愛着を持って「世羅高校で学んで良かった。また高校で学ぶなら世羅高校で学びたい」と思える充実した教育活動をしてゆく使命があります。

わたくしは、『文武不岐』の精神の基、今年度の重点目標のひとつとして「世羅三訓」の実践を強調したいと考えています。

- ① 挨拶励行
- ② 時間厳守
- ③ 整理整頓

たった一度の人生だからこそ、生徒たちには、明るく挨拶ができ、時間を大切にし、ルールを守り、学習に燃え、部活動に情熱を注ぐなかで、この一年間の高校生活が充実したものとなり、『元氣・感動・笑顔』でいっぱい楽しい思

い出づくりをする年であってほしいと願っています。

今年度もチャレンジハイスクールの指定(県内十五校)を受け授業改善と進路指導の充実のために教職員一同取り組んでいます。

昨年度は、三年生就職希望者が百%就職(三十四名)をし、進学者が国立公立大学を始めとする上級学校へ全員合格(国立公立大学合格者は三十一名)しました。

今年度も、三年生就職希望者が百%就職できるよう、また、進学者が国立公立大学を始めとする上級学校へ全員合格できるように、一年生から三年生まで日々の授業を大切にすることは勿論のこと、放課後の補習や夏期補習や世羅塾などに学校全体で取り組んでいます。

また、今年度も夏休みに農業経営科、生活福祉科の生徒は、地域の農園・事業所等に出かけて貴重な就業体験(インターンシップ)や実習をする計画です。

部活動も活発で、たくさん運動部が県大会に出場し成果を挙げています。また、ソフトテニス部女子の谷本・清住組は七月二十二日に岡山市で開催される中国大会に出場することが決まっています。

また、昨年十二月二十五日全国高等学校駅伝競走大会で男子は二年ぶり七度目の優勝、女子は最高順位の十一位と健闘した陸上競技部は、七月下旬開催のインターハイ(新潟市)に三名出場することもあり、運動部全体が着

実に力を付けています。

文化部も六月の文化祭で展示等により成果の一端を示し、書道部の創作パフォーマンスや吹奏楽部の演奏も実に見事でした。

今後とも、伝統ある世羅高校同窓会の益々の御発展を祈念いたしますとともに、会員の皆様には、引き続き温かい御支援と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

同窓会改革を求めて

同窓会副会長 瀬尾 圭三 (昭36高卒)

同窓生の皆様、如何お過ごしでしょうか。母校同窓会「総会・懇親会」は、これまで長年八月第三日曜日開催されてきましたが、この時期は参加しにくいとの声が多くありましたので、ご要望をもとに検討の結果、今年度から毎年七月、第二土曜日に開催することになり、規約改正をいたしました。

昨年の同窓会報では「同窓会改革特集号」として改革の経緯を詳しく報告いたしました。最大の事業「総会・懇親会」を改革元年と位置付け、前卓治幹事長さん(昭和三十四年卒)を中心に当番幹事の皆さんが改革の趣旨をしっかりと

と踏まえていただき、懸命に取り組んでいただきました。その結果一七〇名という過去と比較にならないほど多くの同窓生の皆さんが参加してくださりました。

「改革元年」の成果と課題

これまでの「総会・懇親会」への参加者が余りにも少なかったということは、私自身を含めて卒業生の皆さんの母校同窓会への帰属意識が余りにも希薄だったのではないかと反省しているところです。そのような状況の中での一七〇名の参加者ですから改革元年の総会・懇親会としては、大きな成果であったと思います。母校同窓会はまだパワー、エネルギーがあるというところを改めて認識させられました。このことは前卓治幹事長さんを中心とした当番幹事の皆さんの一丸となった、まさにボランティア精神で、取り組んでいただいたお蔭であると思います。更に成果として、総会・懇親会と並行してクラス会・同期会を開催され、卒

年次によつては県外からも多く参加されたこと、地元産の商品を土産物にして好評をいただいたこと、パーティの料理はオードブルが一般的ですが、昨年はオードブルと少ないメニューではありましたが箱膳を用意したこと、参加希望者にはチケット購入制を導入し出欠席が明確になったこと等々があげられると思います。改革の最大の課題は何といつても「一人でも多くの同窓生の結集、そして母校の支援。そのためにはどうすればよいか。」ということに尽きます。

二 「改革二年目」の取り組み  
昨年取り組んでいた内容は、今年度も是非踏襲しなければならぬ内容、逆に改善したほう

ならぬ内容、逆に改善したほう

感性が光るアートな写真  
残しておきたい思い出の写真

アート写真光房 **阿部写真館**  
アート光房 **Exfuze** 世羅町本郷  
TEL:0847 22-0213  
http://www.cameraman-abe.com/  
Eメール: info@cameraman-abe.com

TOCHU GROUP スズキ専門店  
**スズキオートSHOP**  
TEL(0847)22-0279 FAX(0847)22-0977

指定民間車検場 スズキサービス指定工場  
トヨタ車のことなら トヨタサービス指定工場 ボディーフレーム修正工場

**アラタニオート(株)**  
TEL(0847)22-0279 FAX(0847)22-0977

がよい内容、等々検討に値する内容も多く提供していただいたことは「改革二年目」として飛躍向上に繋がります。重田善吉幹事長さん(昭和四十五年卒)を中心とした当番幹事の皆さんの取り組みは、昨年度の「改革元年の成果と課題」をしつかりと踏まえ、随所に生かされ、多くの面ですばらしい創意工夫がなされ、画期的な取組をしていただいたと思っております。今年度の取り組みの結果、最終的に参加者が何人になるかはわかりませんが、同窓生の皆様のご理解を期待したいと思います。

三 「改革三年目」に向けて

来年度は同窓会改革三年目となります。「改革三年目」の課題は、同窓会支部組織の再建・活性化と母校への支援体制の確立です。改革(第一期)の完成を期していません。支部組織は現在でも県内外にあり、東京校友会と近畿同窓会からは活動の報告を頂いています。それ以外はほとんどが有名無実になつているのかなと懸念しています。県内の各市を中心に卒業生の人数等を勘案して、市単位の支部の再建、卒業生の人数によっては合併を伴った新たな支部の結成等の検討が必要です。母校への支援策としては、先ず母校の実態について理解を深めなければなりません。そして、支援すべき内容・課題、そのための必要条件等々の検討が必要です。今日の学校教育は少子化問題、教育の潮流の変化、等々世間の趨勢の影響を受けて厳

しい現実には直面している学校も少なくありません。母校もその影響は否定できないものがあるかと思えます。私たち同窓生は先達の築かれた歴史と伝統を守り、さらに発展していかねければなりません。そのためには何としても同窓会の体制を盤石にしなければ「力」になりません。同窓生の皆さんの今後一層のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成二十三年度  
総会を終えて

あの18歳へ  
戻りませんか?



平成23年度当番幹事長  
前 卓治(昭和34年卒)

同窓生の皆様には、お元気に過ごしての事と思えます。昨年のお通い、懇親会へは多数のご参加を頂き有難うございました。昨年はS34年卒の私どもの当番幹事の年とは知っていましたが、同窓会改革元年とは思ひもかけず、他の年度の当番幹事の方々と準備会に臨んだ次第です。同窓会役員(改革検討委員)さんの説明を聞き、



当番幹事として、今までどおりの三〇〇四〇人の総会では恥かしい何とか倍増、又は3倍増をと皆で話合つたわけです。私共34年卒は、これまで数回同級会をしておりませんが、口コミ、声掛けでやつております。その経験をもとに、この同窓会も声掛けが一番と、当番幹事はもちろん、同窓会役員の皆様にもお願いし、一七〇名余の総会懇親会へのご参加を頂きました。今年も、当番幹事(2年任期)を務めますが、今年には末尾5の付く年の卒業生が主流となつて頂き、S45年卒の、重田善吉幹事長を中心に、昨年以上の参加者となるよう、声掛けをしております。呼ばれる内、声掛かる内が華と思召して、呼べば答える「山びこ」のように皆さんの参加をお願いいたします。関東や、関西地区から加わただけるようですが、卒年度がわかれば地元在住の同級生に呼

びかけて、久しぶりの再会を演出したい思いもあります。卒業後何年も、何十年も経ていながら、一瞬にしてあの18歳の高校生時代に戻れるこの再会は、何ものにも代えがたい一時とは思いませんか! 歴史と伝統ある世羅高等学校の同窓会が益々盛会になることを心から念じて止みません。

陸上競技部部長 小山 英士

昨年十二月に行われた、第六十二回全国高等学校駅伝競走大会において、二年ぶり七回目の優勝を果たすことができました。第六十一回大会では、わずか六秒という差で優勝を逃し、「王座奪回」を目標にして「昨年の六秒を忘れずに」をモットーに新しい年度が始まりました。しかし、春先から選手の故障や体調不良などが多く出て、なかなか調子が上がらないという状況でした。そこで選手一人ひとりが、もう一度昨年の六秒について考え、悔しかった気持ちを思い出し、一秒を大切にすることを再確認することで、練習に対してより集中して取り組むことができるようになり、夏以降はチームの力も少しずつ底上げされていきました。そして迎えた全国高校駅伝。一区渡邊がトップと三十秒足らずの五位という好スタートをきり、二

一般鋼材・ステンレス・アルミ各種加工

# 上野鉄工所

上野 悟(昭和52年卒)

〒722-1112  
広島県世羅郡世羅町本郷36-3  
TEL&FAX (0847)22-1322

出光興産株式会社販売店

# 芸備燃料株式会社

代表取締役 坂 東 辰 男

本社  
〒722-1112 世羅郡世羅町本郷812-4 TEL 0847-22-2121  
世羅バイパスSS  
〒722-1112 世羅郡世羅町本郷654-1 TEL 0847-22-1151  
世羅配送センター  
〒722-1111 世羅郡世羅町寺町1871-1 TEL 0847-22-1136



区城西は少し順位を落としたものの、好位置をキープして、三区留学生のディランゴに棒を渡ししました。ディランゴは区間二位に一分少々の差をつける区間賞で予定通り先頭に立ちました。そして三区終了時点で二位とは五十二秒の差をつけることができました。四区大工谷も区間二位と安定した走り後続との差を広げ、五区貞永、六区河名、アンカー箱田と、三人とも区間八位以内で走り、箱田が二時間三十分五十秒で七度目の優勝のテープを切ることができました。今回は、六十回大会とは少し違った展開でした。前回は留学生の快走によりできたリードを、少しずつ減らしながら逃げ切るというレースでしたが、今回は、四区以降の選手も差を広げ、最終的には二位に一分三十二秒の差をつける

ことができずました。もちろんディランゴがいるから、他の選手に安心感が生まれたり、他校の選手のプレッシャーになったということや、快走してくれたから優位に立てたことは否めませんが、決して留学生の力だけでなく、四区以降の選手が他校の選手を引き離すことができたというのは、大きな意義があったと思えます。

今回のこの優勝は、同窓会をはじめ、地域の皆様方、学校関係者の、絶大なる物心両面にわたつての御支援のおかげだと心より感謝しています。

今後さらに精進を重ね、一昨年果たすことのできなかつた、高校駅伝創生期の第一回・第二回大会以来の連覇に向けて、日々の生活や練習を充実したものに、十二月の都大路を目指していききたいと思えます。

同窓生の皆様方には、今後とも絶大なる御支援をいただきたいと思えますので、どうぞよろしくお願ひします。

### ロンドンに世羅高旋風を!

世羅高校陸上競技部OB・OG会

事務局長 神田 敬州

ビダン・カロキ選手(平成22年卒・エスビー食品)が去る六月二日に米国で行なわれたロンドン五輪ケニア代表選考会陸上男子一万mにおいて堂々の3位に入り、ロンドン五輪ケニア代表に決定しました。長距離種目では世界最高水



(エスビー食品提供)

準を誇るケニアで五輪の代表権を獲得することは最難関とされており、国内外を問わず世羅高校の卒業生の中でも五輪代表の誕生は初の快挙。

ビダン・カロキ選手は世羅高校在学中、第60回全国高校駅伝優勝に貢献したことをはじめ、数々の好成績を収めてきましたが、とりわけ平素の生活態度や決して努力を怠らない練習への真摯な取り組み姿勢が模範的で、チームメイトや多くの先輩・後輩から敬愛されてきました。

全国高校駅伝で昨年の優勝に続き、連覇をめざす岩本真弥監督はじめ陸上部員、そしてOB・OG会一同も「ロンドンで世羅高旋風を巻き起こして!」とカロキ選手の走りに熱いエールを送っています。

### 学校便り

#### 一、世羅高校国際交流

#### 推進会議について

この会は、ケニア共和国をはじめとする諸外国との国際交流活動を通じて、教育及びスポーツ、社

会教育、文化活動等の相互交流活動を推進し、世羅台地を中心とする地域の活性化を目的に結成され、以来十一年間、ケニア共和国からの留学生の受け入れ、台湾「大同高級中学」との交流を重ねてきました。おかげさまで会の活動も円滑に進み、着実にその成果も現れています。

とりわけケニア人留学生の活躍は目覚ましいものがあります。生活態度はまじめで、陸上競技に対する情熱はすばらしいものがあります。日本人選手が受ける影響も大きく留学生と練習を共にすることで、競技力、人間性が数段向上しているものと思えます。

今年卒業生で、六十回大会の全国優勝メンバーでもあるビダン・カロキ君(エスビー食品)がケニアの一万メートルの代表として、ロンドンオリンピックに出場します。「世羅から世界へ」卒業生が活躍してくれることを期待しています。

今年度は二名の留学生を受け入れています。彼らの日本での生活費はこの会の会費から捻出されています。同窓生の皆様方には、全国大会出場時の寄付等でも御支援いただいております。誠に恐縮ではありますが、この会の趣旨も御理解いただき、御支援、御協力のほどよろしくお願ひします。



手造りのおもてなし  
法事・慶弔料理・仕出し・宴会の予約承ります  
ファミリーレストラン

# タイニー

世羅郡世羅町西上原483-3  
TEL (0847) 22-0322 FAX (0847) 22-0405  
http://www.fr-tiny.co.jp/

O A 機器・事務用品・学用品 } 卸・小売  
オフィス家具・教材教具・教科書

## コクヨ 森田尚文館

森田 努 (S29年卒)

世羅郡世羅町 TEL 22-0136(代)

FAX 22-3051

## 二、NPO法人世羅国際交流教育ネットワークについて

世羅高校は平成22年1月にニューヨークのTHORNTON D ONOVAN SCHOOL (TD校)と姉妹校協定を締結しました。世界平和、地球環境を共通のテーマとして、相互に生徒を派遣し生徒同士が交流を深めることを目的として、平成22年3月から交流を始めました。その活動を支える為、両校の姉妹校締結の目的に加えて日米の国際交流友好親善、国際相互理解の推進、健全な青少年の育成等に関連した事業の円滑な推進等の支援や、世羅高校のみならず町内の幼・小・中学校も含め世羅町上げて地域全体の国際交流の推進に対して支援していくこと等を目標に、平成22年3月、「NPO法人世羅国際交流教育ネットワーク」が設立されました。地域の有志の方が会員となってこの国際的な交流活動を支えてくださっ



ています。世羅高校がこの交流をおして、地域全体の国際交流の掛け橋になることを願っております。

### 交換留学の実績

※相互に約2週間のホームステイ、学校での授業参加を実施  
平成22年

3月 世羅高校から4名が TD校へ

6月 TD校から8名が 世羅高校へ

平成23年

3月 世羅高校から9名が TD校へ

6月 TD校から16名が 世羅高校へ

平成24年

3月 世羅高校から6名が TD校へ

6月 TD校から10名が 世羅高校へ

## 三、《進路状況及び取り組み》

### 進路指導部

昨年度(平成23年度)卒業生の最終的な進路は、4年制大学69名

短期大学11名、専門学校59名、就職(公務員を含む)は34名でした。

広島大学をはじめとする国立公立大学の合格者は31名、難関私立大学

へも17名の合格者を出すなど近年では最も多い合格者数を出すことが

できました。就職についても、昨今の厳しい状況の中にありながら、就職内定100%を達成するなど、

生徒が頑張った結果と云っていいでしょう。

子ども

の人口が減少している昨今、大学全入時代に突入しているとも言われています。選ばなければどこかの大学には入れるという

一方で、厳しい経済状況の中で国立公立大学の人気上昇したり、有名難関大学に志願者が集まり難易度が上がるなど、大学入試は二極化してきています。どのような状況

であれ、安易に志望校を決めてしまわず、少しでも高みを目指して努力し、その希望が実現できるよう指導していきたいと考えています。

本校は昨年度に引き続き、広島県教育委員会から「チャレンジハイスクール」の指定を受けています。チャレンジハイスクール事業では、県内指定校の教員とともに

大学入試センター試験に向けた共通教材を作成するなど教科指導力を向上させるとともに、生徒の進路意識の向上に向け、大学の研究室訪問、企業訪問、そして他校生徒との合同学習合宿などを実施して

いく予定です。

また、今年も放課後や長期休業中の補習・世羅塾などをとおして学力向上に努めるとともに、面接指導などを繰り返し、就職に向けた指導も行なっています。進路指導部をはじめ、全教職員で生徒の進路実現に向け努力してまいります。今後とも御指導、御鞭撻のほど、よろしくお願ひします。

## 四、《農業経営科》

農業経営科への学科改変から3年が経ち、完成年度を迎えました。農業の実践活動をおして、生命の大切さや地域貢献に取り組む積極的な姿勢を学習しています。また、2年次からはより専門性を深めるため、類型別(地域営農、六次産業)に分かれ、その課題解決に向けた実習・調査・研究を進めています。

本年度より本格的に稼動する食品製造棟では、ビスケットやジャムなどの加工・製造は勿論のこと、商品開発に向けたプランニング・食材研究を行う施設も充実しています。農場においては、新設された環境制御温室や農業実習室を活用することで、食糧供給や環境保全をより先進的な視野で学習することが出来ます。

現在、地域連携として「ブルーベリージャムプロジェクト」、「宇宙ダイスプロジェクト」など、「地産物」を活用する取り組みを協力団体とともに行っています。



スーパーマーケット

三谷屋

門田プラザ店 三成店 御調店  
大和店 パオ店



Kondo Planning Co

有限会社 近藤プランニング TEL (0847)25-0303 [WEB] k-plan.ne.jp



学科の歴史はまだ新しく、特に卒業後のその進路については注目をされるところだと思えます。先ずは「農業者」の先輩方が築かれた歴史に近付けるよう、努力していきたいと思えます。

### 五、《生活福祉科》

生活福祉科では、生活産業のスペシャリストとして働き、社会に貢献できる人材の育成を進めています。そのため1つ目は、高度な資格取得を目指しています。介護福祉士国家試験受験資格(受験には9か月の実務経験が必要)や介護員2級課程、ワープロ検定、サービス接遇検定、家庭科技術検定などです。2つ目は、衣・食・住など生活を基盤にした学習を行います。生活に関する知識や技術をもとにファッション、栄養や調理、保育や福祉について学習しま

す。3つ目は、地域交流・ボランティア活動を行い、働くことの大切さや喜びを学び、高齢者や子どもとの触れ合いなどの活動をとおり、地域の福祉に貢献できるように取り組んでいます。

### 六、《部活動紹介》

◆文化部  
吹奏楽部  
部員数(男子7名、女子30名、計37名)  
○活動内容、目標、モットーなど  
・コンクールで金賞を取ることを目指して、部員一人ひとりが進歩できるように毎日練習に励んでいます。

美術部  
部員数(男子2名、女子19名、計21名)  
○活動内容、目標、モットーなど  
・ポスター応募、公募に出展する。  
・フラワーフェスティバルの花かごのデザインなど町内外の活動にも参加しています。  
・楽しくかつ積極的に作品を作っていく。

書道部  
部員数(男子1名、女子20名、計21名)  
○活動内容、目標、モットーなど  
・文化祭で書道パフォーマンスを発表します。  
・高芸文連尾三地区展と中央展に出品しています。

科学部  
部員数(男子1名、計1名)  
○活動内容、目標、モットーなど  
・全国高校科学グランプリ一次選考突破。

英語部  
部員数(女子2名、計2名)  
○活動内容、目標、モットーなど  
・スピーチコンテストに向けての練習。  
・ALTの先生との会話。

茶道部  
部員数(女子13名、計13名)  
○活動内容、目標、モットーなど  
・全員が確実にお点前できるようにする。  
・礼儀作法を学ぶ。

私生活のテーマ「Take it easy」です。良い作品を作ろうとして身体を壊しては意味がありません。人々の心に染み渡る作品を作るには、まず自身の健康から。そして部員の一人ひとりがその才能を開花させ、将来の直木賞作家や手塚賞作家を生み出していこうという気持を込めています。

### 写真部

部員数(男子6名、女子7名、計13名)  
○活動内容、目標、モットーなど  
・撮影技術を向上させる。  
・高校総合文化祭で一席に入賞する。

### ◆運動部

#### 陸上競技部

部員数(長距離男子35名、長距離女子16名、短距離男子10名、女子1名、計62名)  
○活動内容、目標、モットーなど  
・長距離男子：全国高校駅伝優勝。  
活動内容：山、川土手などを使った集団走、インターバルなど。  
・長距離女子：4月から新入生4人を迎え、新チームでスタートした。中国大会には1年生4人を含む過去最多の計7人が出場する。挨拶、返事や体操の声かけなど、今まで以上に皆で意識し、チームとしても、一人一人の個人としても成長している。これから夏の合宿などとおし、更にチームのまとまりを強くし、チーム・個人の力を高め、「全国高校駅伝入賞」を達成するための一日一日の練習に励む。

短距離部  
部員数(男子24名、計24名)  
○活動内容、目標、モットーなど  
・県大会ベスト4。  
・一人一人が意識を高く持ち、日々成長する！。

# 進物の玉浦

☎0847-22-1107

FAX.0847-22-1567

〒722-1121  
世羅郡世羅町西上原612-2  
営業時間/AM8:00~PM7:00  
年中無休



警備保障事業部(広島県公安委員会第434号)  
人材派遣事業部(般34-300074)

## 株式会社 實徳コーポレーション

〒729-3302 広島県世羅郡世羅町大字川尻1288-1  
TEL(0847)25-5271 FAX(0847)25-5272  
(0847)22-0500

(女子)

- 部員数(女子12名、計12名)
- 活動内容、目標、モットーなど
- ・地区大会優勝
- ・大きな声で練習する。

バレーボール部

- 部員数(女子11名、計11名)
- 活動内容、目標、モットーなど
- ・尾三地区上位入賞。
- ・明るく!楽しく!元気よく!県大会出場目指してがんばっています。

ソフトテニス部

- (男子)
- 部員数(男子19名、計19名)
- 活動内容、目標、モットーなど
- ・県総体団体戦3回戦進出。
- ・個人戦出場。

(女子)

- 部員数(女子17名、計17名)
- 活動内容、目標、モットーなど
- ・県総体団体戦2回戦突破
- ・声を出し、一球一球集中する。

卓球部

- 部員数(男子11名、女子4名、計15名)
- 活動内容、目標、モットーなど
- ・県大会1回戦突破。

サッカー部

- 部員数(男子24名、女子6名、計30名)
- 活動内容、目標、モットーなど
- ・県総体出場。
- ・考えるプレーを心がける。

ソフトボール部

- 部員数(女子10名、計10名)
- 活動内容、目標、モットーなど
- ・県大会出場。

・時間厳守、挨拶をする。

剣道部

- 部員数(男子6名、女子3名、計9名)
- 活動内容、目標、モットーなど
- ・声をしっかりと出し練習する。
- ・礼儀をしっかりと身に付ける。

空手部

- 部員数(男子7名、女子5名、計12名)
- 活動内容、目標、モットーなど
- ・中国大会出場。
- ・柔軟、基本形、組手。

硬式野球部

- 部員数(男子28名、女子6名、計34名)
- 活動内容、目標、モットーなど
- ・県大会ベスト8進出。
- ・楽しく、強く。

# 支部だより

## 東京校友会

会長 十河 研一 (昭36年卒)

東京校友会の会計年度は十月から翌年九月までとなっており、主な活動は、年二回の会報発行、親睦会及び十一月の総会となっております。

今年に入って、先ず一月には、「男はつらいよ」の舞台となった寅さんの故郷である柴又帝釈天など「柴又七福神めぐり」を行い、一年の平安と幸福を願いました。



世羅高等学校東京校友会

四月には、「都立林試の森公園」において観桜会を催しました。林野庁の林業試験場跡地を整備されただけあつて国内外の多種の珍しい樹木も沢山あり、晴天の中満開の桜を眺めながら宴を楽しみました。会報「とうきよう世羅」は、昨年の全国高校駅伝での優勝(男子)の模様や校友会活動などを掲載した第三十四号を四月一日に全会員宛てて発送し、現在次号を十月七日の発行に向けて鋭意編成中です。

## 近畿同窓会

会長 松尾 千九三 (昭25年卒)

- 平成二十三年
- 四月十日 広島県・関西同窓協議会総会に参加(大阪弥生会館)
- 四月二十九日 役員会開催(新年度総会等事業について打合せ)
- 五月十五日 広島県人会総会ふる里ふれあい祭りに参加(ヒルトン大阪)
- 六月十二日 世羅高近畿同窓会総会開催(大東洋)
- 七月一日 役員会開催(近畿同窓会の運営等について打合せ)
- 八月二日 全国高等学校野球選手権出場の水館高校の歓迎激励会に参加(新大阪駅)
- 八月十三日 全国高等学校野球選手権 如水銀高校(二回戦)の応援に参加
- 八月十六日 全国高等学校野球選手権 如水銀高校(三回戦)の応援に参加(甲子園)
- 八月二十一日 母校同窓会総会

いつでも電話でお気軽に  
総合建設業

# (有)坂上建設

☎23-0231(代)  
世羅町宇津戸3453-1 FAX 23-0232  
夜間 23-0511

郷土の発展に貢献する

# 井上建設株式会社

一般土木・ほ場整備・舗装・水道・建築・リフォーム

取締役 井上 力

三原市久井町江木1471 TEL 0847-32-7125  
FAX 0847-32-8366



(世羅ワイナリー)  
九月十日 広島県・関西同窓協議会幹事会(大阪弥生会館)  
十一月六日 母校選手全国高校駅伝大会広島県予選会に出席(三次市) (男子・女子揃って優勝)  
十一月二十七日 役員会開催(駅伝全国大会出場カンパ依頼封入作業等)  
十二月四日 広島県・関西同窓協議会幹事会(終了後、「忘年会・懇親会」に参加)(大阪弥生会館)  
十二月二十二日 母校より小島同窓会会長・藤井校長・小山上部部長が来阪(企業他ご挨拶)  
十二月二十五日 母校全国高

校駅伝大会に出席(男子優勝・女子十一位) (西京極陸上競技場)  
平成二十四年  
一月十五日 広島県・関西同窓協議会 新春懇談会に参加(大阪弥生会館)  
二月四日 全国高校駅伝大会男子優勝の祝賀会(甲山農村環境改善センター)  
二月十八日 広島県・関西同窓協議会幹事会に参加(大阪弥生会館)  
三月十四日 広島県・関西同窓協議会 一日旅行に参加(奈良散策)  
三月二十日 役員会開催(新年度総会等について打合せ)

### 呉支部

支部長 大原 重徳 (昭25年卒)

**吳点描(その二)**  
前回の支部だよりで、呉の中央棧橋の展望塔から、南側を眺めた景を紹介した。今回は、右に移動して西側の景を紹介したい。

すぐ眼下に建物の屋根が目につく。大和ミュージアムである。平成十七年に開館した。それまで呉の街は元気がない街と化していたが、開館後は訪れる人が多く、街は活性化した。

そのやや右寄りに、鉄のくじら館の愛称で呼ばれる、海上自衛隊呉史料館が見える。実物の潜水艦

を屋外展示していて、黒い巨体がすぐ目につく。艦内も見学でき入館料は無料である。

目線を少し上げると、左側の海に白い船体の船が停泊している。非常の海難事故に、何時でも出動する巡視船である。ここは海上保安庁呉本部である。

さらに目線を上げる。3kmくらい先で右から左に山並みが流れ、海に落ちている。この山の中腹に向かつて、家並が登っている。急な石段が多い。名物となつている「二百階段」もここにある。映画「海猿」のロケがここであった。坂下の通りを三条通りと言い、今でこそシャッター通り化しているが、昔は結構に栄えた商店街であった。

目を左に移すと、海に山並みが落ちたあたりに、海上保安大学校がある。海上保安庁の幹部職員養成のための、唯一の大学校であり毎年、四十名あまりが入学する。内、一割程度が女子学生である。山の向こう側は、呉市吉浦町であり、広島市に続いている。

### 近況報告

#### 第三の人生

岸 順之 (昭37年卒)

私は昭和37年世羅高校を卒業後、直ぐに大阪の北浜に就職し、私の半生以上かもしれない47年間を証券界一筋で過ごして、3年前に故

郷へ帰郷しました。誰一人知らない大阪、そして何一つ知識のない証券界で、どんな環境の中でも決して溺れる事のないようにと、たに思います。後半は活動にも余裕を持つて当たれるようになりまして、すでに妻は、私の両親の面倒を見てくれる為、一足先に田舎へ帰ってくれておりましたので、まだまだ仕事は出来るのだがと少しばかりは心を大阪にのこしたかも知れませんが無事帰ってくる事が出来ました。今、故郷に帰り昔とは随分と景色は違っておりませんが、やはり、懐かしく大好きな故郷にちがいは有りませんでした。とても厳しく競争の激しい大阪での生活でしたが、今となつては掛け替えのない楽しい思い出となっております。田舎へ帰ったら毎日をゆつくりとした時間の中で、正に晴耕雨読を楽しもうと思つていましたが、人間なかなか平凡には暮らせないので時間に余裕が出てくると、あれもしたい、これもやりたいと次から次へと欲張つてしまいます。

第二の人生は野菜や花を作つて平凡にと思つておりましたが、私には、まだ与えられる第三の人生があるような気がしています。それは今までお世話になつた地域社会への恩返しや、両親が培つて守つてくれたこの大地でもう一度、私流の田舎を作つて見たい、そんな気持ちにかられています。まだ、帰郷して三年間しかたつ

### 原稿募集のお願い

クラス会・同期会報告、近況報告、感想等(写真と四〇〇字程度)、皆様からのお便りをお待ちしております。送付先は、世羅高校同窓会広報委員会宛です。

### 編集後記

暑中お見舞い申し上げます。会報発行が昨年より一ヶ月早くなり、編集に手間取り、不完全な紙面となりましたが、なんとか会報第14号をお届けすることができました。お忙しい中ご寄稿くださいました方々に厚くお礼申し上げます。

(広報委員会)